

『一生懸命』 幻の新座市議会報告第267弾!



たかむらともや

2026年2月11日発行

川島勝治

五中時代、僕には三人の尊敬する、憧れる先輩がいました。9つ上の甲神岳・木下保則・そして、川島勝治の3人です。

なんで呼び捨てかって?僕は尊敬する人を呼び捨てにする癖があるのです。だから、この3人はいつでも呼び捨てです。(笑)

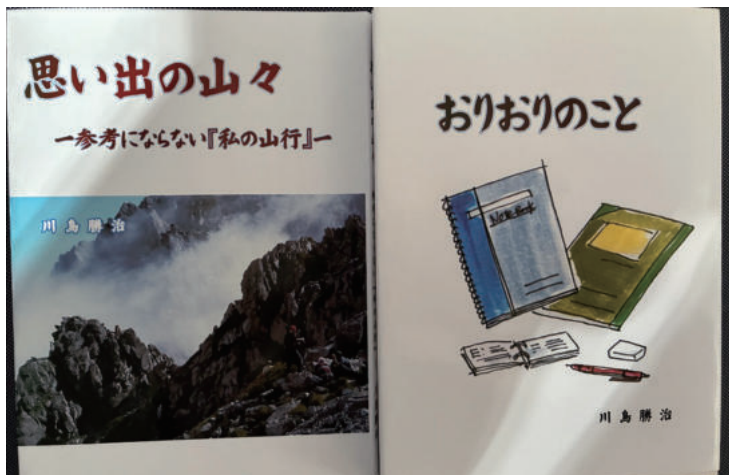
5年目の五中7期生の1年2組の担任のとき、川島勝治は1年3組の担任でした。そのとき、僕は「憎き川島勝治」という詩を廊下に張り出しました。考えられますか?隣のクラスの9つ下の生意気な後輩が、自分の名前の前に憎きという形容詞をつけて、廊下に張り出したのです。もう滅茶苦茶ですよ。(笑)

なんでそんなことをしたのか...それは川島勝治という先輩が、偉大だったからです。

五中4期生が3年生のとき、僕のクラスは勝治のクラスに完敗しました。学力では一度も負けませんでした。体育祭や合唱祭で負けたのです。もう、負けるのは嫌だ!という訳で1年2組の廊下にあの詩を張り出したのです。

甲神岳・木下保則・川島勝治...魅力ある先輩達はみんな日々努力をしていました。

大量の本を読み、体を鍛え、子ども達と向き合い、学ぶことをやめなかった。だから、みんな魅力的でした。その川島勝治の本がこれ。いやあ、どちらも面白かったです。流石、僕が憧れる川島勝治。いい文章を書きます(笑)



五中時代、僕が憧れていた先輩、そして勝手にライバルにしていた川島勝治です。"月とスッポン"だったのに... (笑)。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
東京青山生まれ。

新宿区百人町四丁目
の公務員住宅で育つ。
西戸山幼稚園・小学校・中学校卒!
都立石神井高校から

船乗りを目指し、北海道大学水産学部に進学するも、大学3年のときに朝日新聞の"今、学校で"を読み「教師になる!」と血迷い(笑)あらゆるインチキな手をつかい、単位を取る。大学の卒業証書はホンモノだし、教員免許もホンモノだが... (笑)。詳しくは拙著「先生の日」でどうぞ!

小さい頃から「超悪ガキ」だったが、弱い者いじめが大嫌い。だから、職業に関係なく、強い奴らに媚びを売り、弱いもの虐めをする奴らが大好きなのです。

好きな政治家はホセ・ムヒカ、山本太郎、バーニー・サンダース。好きな女優はアン・ウンジン。写真は函館中部高校定時制の遠足で、僕が22歳のときの写真です。

たかやんの連絡先

自宅・塾

042-456-8869

携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

🐼 幸せのハードル

1月になると思い出すのがあの寒い冬のことです。1995年の1月、僕は長男の亮と二人ホームレス生活をしていました。

現役の中学校教師がホームレス！？そんな馬鹿な！と思うかも知れませんが、本当の話です。「続先生の日」に詳しく書く予定ですが、現役の教師が小学生の息子と一緒に学校の敷地内で野宿。**今なら完全にアウト！**

僕らは六中の噴水の前にパジェロを停めて、そこで3か月間暮らしていたのです。

そのとき、あの阪神淡路大震災が起きました。マイナス5度の中で焼け出された人たちのことを思ったら、僕らは**幸せ**でした。六中の外トイレは使えなし、理科準備室で朝ご飯も作れたからです。どんなに寒くても、寝袋の中で足を伸ばして寝られる僕らは神戸の人たちよりも**幸せ**でした。教え子の家のお風呂にも入れてもらいました。真夜中に六中の屋上で天体観測もしました。

そんな僕らを温かく見守ってくれた例の先輩の一人木下保則(キノッピー)校長や同僚たちには今でも**感謝**の気持で一杯です。

あの年に年賀状がパジェロに届きました。差出人は例の先輩の一人、甲神岳。宛名は「新座市立第六中学校の噴水の前のパジェロ」のたかやんへ でした。

その年賀状を届けてくれた粹な郵便配達人の方にも**感謝**です！

それ以来、僕は温かいお風呂に入れることや、温かい布団で眠れること。家に電気が付いていることや水道の水がでること。質素でも栄養のある食事ができること…

そして何より、家族が健康であることに**大きな幸せ**を感じるようになったのです。

そして、「幸せのハードルは低い方が、笑顔でいられる」…ということに気づきました。

僕の三人の子ども達、五中、六中、二中の教え子達、「たかやん塾」の子ども達、そして僕の仲間たちが今年も「**幸せのハードル**」を低くして、**元気で幸せ**でいてくれたら僕は**幸せ**です。この2026年も僕が愛する人たちにとっていい年になりますように！ 🐼

🐼 公園は誰のものだ！！

市内には多くの公園がありますが、小中高生の子も達がボール遊びできる公園が余りにも少ない！先日の「**こども議会**」でも多くの子ども達が取り上げていました。

子ども達はボールで遊びたいのです。それなのに、「近所迷惑」「危険」という理由で禁止してしまっている。その市の姿勢がおかしい！どこが「子育て応援都市」なんでしょう。

日本中で公園を自分の庭と勘違いしている大人が**急増中**です。公園が自分の家の庭なら、公園で遊んでいる子ども達も自分の子どもや孫たちだと思えばいいのに…

公園という空間だけが自分のものだと思っているから、**子ども達の「歓声」が「騒音」に聴こえてしまう**のです。その内、誰でも聴こえなくなってくるのだから、聴こえることを**幸せ**に感じられたら**幸せ**なのに。最近、難聴気味の僕はそう思ってしまう。(笑)聴こえて本当に**幸せ**なことなんですよ。

お父さんやお母さんと子ども達、お兄ちゃんやお姉ちゃんと子ども達がキャッチボールしている。それを大人たちが温かく見守る。**そんな公園を増やしていきたい。！！**



僕の五中2年目、五中3期生の林間学校の写真です。僕の隣に川島勝治、右から2番目に木下保則がいます。そして、僕の前に鈴木松江もいます。僕は24歳、勝治とキノッピーは33歳、松江は29歳かな(笑)

陽子や重一郎、クリッタや亨の姿も見えます。**五中の子ども達も**僕もこの人たちに支えられたから滅茶伸びた。僕みたいなポンコツを支えてくれた**仲間たちに感謝！！** 🐼

